『高橋尚子と出路社長と上地雄輔と岡本太郎と夏木マリといしだあゆみ』の関係

皆さん、我社の静かに燃える男安藤君がT自動車優秀作業責任者に推薦されました！！パチパチパチパチパチパチパチパチパチパチ！！！（いいぞ！！！おめでとう！！よくやった！！！！！！！！！！！！！！！！！！）

前回の佐野君からの連続推薦、これで通算3度目の推薦になります。我々の仕事は保全業務ですから『非定常作業』です。決まった場所で決まった仕事をするのではなく、1日に工場中をぐるぐる回りながら点検修理することが多いので、その都度（ブレイカーを落としてロックアウトして高所旗と看板を表示して、作業内容に応じて作業者にゴーグルと防塵マスクと安全帯を着用させて、資格も確認して、シート養生して作業して、終わったら現状復帰させ4Sする）×10回通り/Day　なんていう日もざらにあるわけですから、この3度の推薦を我々は本当に誇っていいと思います！！

新年会のときに賞状とともに金一封を授与したいと思います！みなさん同じ仲間として、大きな声で『おめでとう！！！！！よくやった！！！』と心から祝福の言葉をお願いいたします！！！！！！！！！！！

先日、女子マラソンの高橋尚子さんが引退されました。やり切った人間の悔いの無いすがすがしい笑顔の会見でした。最後に報道陣から無言のままパラパラと拍手が起こりました。高橋選手はそのパラパラとした拍手にも感動して目頭が熱くなっていました。

でも、自分はこの報道陣に大きな違和感を覚えました。なぜ誰一人として『Qちゃん！おつかれさま！！ありがとう！！』と大きな声で言葉の花束を贈れないんだろうか？と。なぜ彼女の成して来た偉業にふさわしい最後を演出してあげられないのかと。たしかに公共の電波発信の場であり、各社共同の作業場でもあり、個人の勝手な振る舞いは厳禁とされているとは思いますが、それでもこういう瞬間は常識や他人の視線を振り切って『ありがとう～～！！！Qちゃん！！』と立ち上がって叫んでいいと思うんです。でもそうする人は報道陣の中でだれもいませんでした。。。。。

鈴木中人さんの『いのちの授業第4回大会』が10月11日に開催されました。私はまたしてもへたくそな司会を披露してまいりました。今回、講師としてお呼びした先生は『元気に・明るく・ちょっとアホ！』を経営理念にしてから借金20億の会社を一気にV字回復させた、京都で年商60億の古着屋を経営されている出路雅明さんという方でした。一見、いのちの授業とはミスマッチしているように感じられると思いますが、命というものを真剣に考えていくと必ず『アホ！』は避けて通れなくなるものなのです。

いまお茶の間では上地雄輔などのおバカキャラが大ブレークしています。彼らは本当に素直に自分の感情を表現して行動します。そしてお客さんを楽しませる為なら自分のプライドを守ることをしません。

もし仮に彼らのうちの一人がキャスターとして高橋尚子選手の会見に出席していたらどうでしょう？会場の張り詰めた空気をものともせず感情を表現し、最後は素晴らしいほのぼのとしたフィナーレにしてくれたのではないかと思います。

頭が賢くなればなるほど人は自分本位になり、自分で自分の行動を縛り、命を燃やさなくなってしまいます。借金地獄の中、出路社長は経営理論の本を捨て、各店長にとにかくアホ！になって自分が楽しめ！という指令を下しました。そこからです、各店長の遺伝子のスイッチがオンし、お客さんも巻き込まれて楽しくなり、地域に無くてはならない店となり、奇蹟のV字回復を遂げました。

今、時代は常識や羞恥心や他人の視線を超えて行動できる『勇気』を求めているのではないでしょうか。

私が人生で一番アホ！だと思って尊敬している人を紹介します。それは『芸術は爆発だ！！』で有名な岡本太郎さんです。この人は戦時中、軍隊訓練で必ず前から3番目に並んだそうです。なぜなら3番目が1番こっぴどく殴られたからだそうです（笑）。通常、少しでも知恵がついていればだれも3番目には並ばないと思います。新入りが知らぬが仏で3番目に並ぶのを見てみぬ振りをして笑っているのが落ちだと思いますが、岡本太郎はそういう自分の小ざかしさとか狡猾さとかに対して生涯徹底して戦った、アホ！の中のアホ！といえます。

あと、名古屋ブルーノートで昨夏観た夏木マリさんのライブもアホ！でした。押しも押されぬ大女優であるにもかかわらず舞台のど真ん中で『どぶネ～ズミみたいに美しくなり～たい！！！』とブルーハーツの『リンダリンダ』を絶叫されておりました！かっこよかったです！！

それから最近家族で観た映画『ホームレス中学生』の中に出ていた、『ブルーライトヨコハマ』のいしだあゆみさんの演技も、大阪のおばちゃんのアホ！丸出しの演技で素晴らしかったです！まるでオードリー・ヘプバーンの晩年を感じさせる精神性の高さがにじみ出ていました。

来月はテクア技研の2大『アホ！の登竜門』のうちの1つとされている、100キロウオークについて書きます。（もう1つはトイレ掃除に学ぶ会です！）。今回の100キロウオークでまた新たなアホ！が誕生しております！乞うご期待！！アホが明日を救う！！

感謝！　羽原篤史